

梶原町社協だより

ゆすまいる

第16号

平成29年

4月

目次

- 会長挨拶／平成 29 年度事業計画・当初予算・・・1P
- 地域福祉活動計画／地域福祉コーディネーター紹介・・・2P
- ゆすはら複合福祉施設設立準備室より新人職員紹介・・・3~4P
- 笑顔つながれ!!輪ッハツハ~町内各種団体リレー~・・・5P
- ちょっと聞いてや~ ~みんなに知っちょいてもらいたい~・・・6P
- Cover's Story(げらげら家族会による認知症カフェ)



地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進に向けて



この度、平成 28 年度に策定した梶原町地域福祉計画（第 2 期）・地域福祉活動計画の製本作業が終わり、概要版が町内の皆様のお手元に届いたことと存じます。

計画策定にあたっては、地域の皆様に座談会を通じて梶原で暮らす中での思い・ご意見等を数多くお聞かせいただきました。

今回の計画では、地域福祉を推進していくための重点施策として、社協の町内 6 区の地域福祉コーディネーターが位置付けられました。

町内では少子高齢化、若年人口の減少などで集落活動が難しくなっている地域もありますが、今なお「お隣さんがなんか困っちゃう」と、地域の困りごとや心配ごとを我が事のように思い、知恵を出し合う支え合いの気持ちも多く残っています。私たち地域福祉コーディネーターは、そんな支え合いの気持ちが、支え合う「活動」へと育っていきけるよう、地域の皆様と共に考え、人と人、地域、行政等関係機関とをつなぐお手伝いをいたします。

また、地域で支えきれない状況にある方には適切な支援や制度につなぎ、既存の制度の狭間で苦しんでいる方があれば新しい仕組みを共に創って行きたいと思えます。

今後も、個別訪問や地域活動への支援を通じてお一人おひとりのお悩みから、地域の困りごとまでどんなご相談でも気軽に相談していただける存在となれるよう精進してまいります。

会長挨拶



今年の春は、ことのほか冬の名残の寒さが残り、桜の便りも遅くなりましたが、やっと春めいてきました。野山を花木が彩る頃となりました。皆様には新年度を迎えられ何かとお忙しいことと存じます。

さて、この度、梶原病院と梶原町保健福祉支援センターの西隣に建設された、事務所の指定管理者として指定をいただき、本会本部事務所を移転させていただきました。

木造二階建てで、一階は事務所と相談室兼授乳室（オムツ替えシートあり）、二階は会議室で、地域や団体の会合にも使っていただけです。いつでも気軽に相談できる総合相談窓口として努めて参りますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

また、各地区担当の地域福祉コーディネーターも、これまで以上にきめ細かな地域訪問に軸足を置き、普段の暮らしの中の小さな不安、困りごとから、制度の狭間で悩んでいる方、諦めている方、どこに相談したらいいのかわからない問題を抱えている方など、お一人おひとりに寄り添い、問題の解決に向け支援して参ります。それぞれの地域で見かけましたらお気軽にお声かけ下さい。

更に、この四月からは来年の春に開設予定の複合福祉施設の職員も入職し、町内外での研修を経てゆすはらならではの施設づくりを進めて参ります。U・I・タインの職員も多くなりましたが、積極的に地域の活動にも参加し、地域の一員として可愛がっていただけるよう努めて参ります。

これまで同様、保健福祉支援センターをはじめとする関係機関との連携のもと、「誰もが安心して暮らせるまち」づくりに向け活動して参りますので、皆様方のご指導、お力添えをよろしく願います。

会長 矢野 豪佑



平成二十九年度事業計画・当初予算

当初予算（単位：千円）		【支出】	
【収入】	補助金収入 163,888 (うち施設設立準備関係) (110,191) 受託金収入 14,440 事業収入 73 雑収入 102	人件費支出 116,468 (うち施設設立準備関係) (67,630) 事業費支出 27,853 事務費支出 29,180 その他支出 4,352 予備費 650	

- ・ 日常生活自立支援事業
- ・ 生活福祉資金貸付事業
- ・ 生活困窮者自立相談支援事業
- ・ 生活困窮者緊急的食糧支援事業
- ・ 法人後見事業
- ・ 無料法律相談
- ・ 地域福祉活動の推進
 - ・ 地域福祉活動計画の推進
 - ・ 地域福祉コーディネーター（生活支援コーディネーター）の活動推進
 - ・ ボランティア活動の推進
 - ・ 災害ボランティア活動の推進
 - ・ 福祉教育の推進
 - ・ 地域支え合い活動の推進
 - ・ おげんき発信の推進
 - ・ 休眠資源再活用事業（リユースゆすはら）
- ・ 複合福祉施設設立準備
 - ・ 事業認可等の事務手続き及び体制整備
 - ・ 設計、建設事業体との調整
 - ・ 職員体制整備、採用諸活動
 - ・ 各種団体組織等との連携強化
- ・ 連携強化・事業の効果的推進
- ・ 事務局団体の自立に向けた支援
- ・ 福祉啓発広報活動
 - ・ 広報誌発行
 - ・ ホームページの運営

平成 29 年度 地域福祉コーディネーター事業 地区担当者



いつも、地域のみなさまには大変お世話になっております。今年度も職員一同、引き続き事業に励んで参りますので、ご協力よろしくお願い致します。

介護職員

- ①山中 由美子
(やまなか ゆみこ)
- ②安芸市
- ③元気！やる気！根気！
時々呑気？をモットーに、エンジン全開で頑張ります。



- ①梅森 久美
(うめもり くみ)
- ②土佐市
- ③仕事は真面目にコツコツと！おとぼけキャラには要注意！？よろしくお祈いします。



- ①藤原 康二
(ふじはら こうじ)
- ②梶原町松谷
- ③これまでの経験を生かし、頑張りますのでよろしくお祈いします。



- ①中越 裕美
(なかごえ ひろみ)
- ②津野町
- ③ユーモア溢れる自己紹介は難しいけれど、がんばります！！



- ①小野 晴香 (おの はるか)
- ②須崎市
- ③初めまして。仕事に婚活に頑張りますのでよろしくお祈いします。



- ① 梅森 翼
(うめもり つばさ)
- ② 南国市
- ③ 底無しの明るさと、元気なムードメーカー！よろしくお祈いします。



- ①森 奈津美
(もり なつみ)
- ②愛媛県西条市
- ③スポーツが好きで、体力には自信があります！お祈いします。



- ① 福元 大地
(ふくもと だいち)
- ② 兵庫県宍粟市波賀町
- ③ 瀬戸内海を越え梶原へ！ここ梶原で、沢山の事を学んでいきます！



事務室の移転について

施設設立準備室は、梶原町保健福祉支援センター3階の日常動作訓練室(階段を上がって右側)へ移転することとなりました。また、移動に伴い、電話番号も下記のとおり変更となります。

電話：65-1800 FAX：65-1802

ゆすはら複合福祉施設設立準備室より 新人職員紹介

平成29年4月1日より、事務局はじめ、梶原町社協職員として採用となった方を紹介いたします。【新人職員自己紹介の内容】①名前 ②出身 ③ひとこと

事務局



管理栄養士

- ①國元 亜津沙
(くにもと あづさ)
- ②南国市浜改田
- ③早く仕事に慣れるようがんばりますのでよろしくお祈いします。



事務職員

- ①中越 瑞季
(なかごし みずき)
- ②高知市一宮東町
- ③周りからはおっとりしているように見られますが、家では鬼嫁です。



看護職員

- ①山本 加奈 (やまもと かな)
- ②津野町
- ③星空が美しい梶原町。天秤座の方向にある宇宙最古のメトシェラ星の光が、天秤座の私を梶原町に導いたかとはもかく看護師最古の星となれるよう務めさせていただきます。



- ①森山 由貴
(もりやま ゆき)
- ②梶原町上成
- ③最近神社仏閣を巡ることはまっています。



- ①西村 修一
(にしむら しゅういち)
- ②梶原町下本村
- ③最近まで松山で働いていましたが、嫁を見つけて帰ってきました。





ちょっと聞いてや〜

〜みんなに知っちゃいてもらいたい〜

〜三笑会 障がい者福祉大会が開催されました〜

3月12日(日)、ゆすはら・夢・未来館において梶原町三障害者団体協議会(三笑会)主催の、障がい者福祉大会が開催されました。この大会は、町内の障害者団体が中心となり、障害に対する理解を深めてほしいと企画した大会です。

当日は、160名を超える参加者があり、オープニングとして梶原みどりの家の網本さん、杉村さんによる絵本「あなのあいたおけ」の朗読が行われました。絵本の内容もちろん、読み手の心がこもった朗読に引きこまれる、印象的なオープニングでした。

また、「私の暮らし」と題して地域で暮らす障がいを持つ方々の意見発表やパネルディスカッションが行われました。自分がどんな生活を送っているのか、また、こんな町になってほしい、など沢山の思いを発表されていました。閉会セレモニーでは、「ビリーブ」という曲に合わせて会場の皆さんで合唱が行われました。休憩時間には障害者就労支援事業所や作業所の出店、車椅子の展示、フリーマーケット、カレー販売等も行われ、にぎやかなひとときとなりました。

出演者の方、スタッフ、ボランティアの皆さん、お疲れ様でした。



絵本「あなのあいたおけ」

庭園で水を運んでいた2つのおけのうちの片方に小さな穴が開いてしまいます。穴の開いたおけは自分は役立たずだ、と泣きますが、庭師は「穴からこぼれた水のおかげで道端の花がきれいに咲いている。おまえは何の役にも立っていないと思うかい?」と言います。ずっとうつむいていたおけは、沢山の花が咲いていることに気づいていませんでした。それを見たもう片方のおけは穴の開いたおけに、「ごめんね。」と謝ります。

ボランティア活動保険

ボランティア活動保険は、日本国内におけるボランティア活動中に起こる様々な事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアの方々を補償する保険です。

補償内容

「ケガの補償」

加入者本人が、ボランティア活動中偶然な事故によって怪我をおった、入院した、死亡したなどのときに保険金が支払われるものです。

「賠償責任の補償」

加入者が他人にケガをさせたり、他人のものを壊してしまった際、損害賠償金として保険審が支払われるものです。

《対象となるボランティア活動》

次の①から③までのいずれかに該当する活動とします。

- ①グループの会則に則り企画、立案された活動であること
- ②社会福祉協議会に届け出た活動であること
- ③社会福祉協議会に委嘱された活動であること

保険を利用したい、またはもっと詳細を知りたいという方は梶原町社会福祉協議会までお問合せください。



笑顔つながれ!!

輪ッハッハ

〜町内各種団体紹介リレー〜



前回の梶原町三障害者団体協議会会長の高橋正知さんにご紹介頂き、今回は 梶原町連合青年団 二神 貴登 さん にインタビューしました。

高校生の頃に青年団へ入団し、団長を務められた二神さんにお話をお伺いしました。若者の代表として、活動や梶原町に対する強い思いを語って頂き、二神さんの魅力があふれるインタビューとなりました。

宇賀 よろしくお願ひします!まずは青年団のことについて教えてください。

二神 青年団は全国組織で、市町村の青年団は都道府県ごとの青年団の連合に加盟して、その都道府県青年団が全国組織「日本青年団協議会」をつくっています。梶原町青年団では、梶原町の若者が集まって、意識を高め一致団結して頑張ることで、梶原の活気づけになればと思って取り組んでいます。若者の交流が主として、イベントに参加して屋台を出したり、お年寄りにちらし寿司を配ったりしました。あと、町の委託を受けて選挙の看板立てと撤去をして、その収入を青年団の活動費として、交流会をしたりしています。

西村 二神さんが関わるきっかけは何でしたか?あと、取り組んでみてどうでしたか?

二神 仲のいい先輩が入っていたのがきっかけです。梶原にいる若い人たちとの交流が楽しいし、それに、青年団は「なに!?暇しゆうが?それならもう、うちに入りや!」って感じて(笑)そうゆう、いいルーズさというか、色んな人の色んなやり方でやっていけるし、ひとつにずっと固定しない、変に社会的なものになっていないというのが良いところで、そこが私がいまも青年団にいる理由です。

あとは、ちらし寿司を配った時、お年寄りがすごく喜んでくれて、わざわざお礼の手紙とか、ハガキとかを青年団宛てに送って来てくれました。そういうのがあれば、やりがいを感じます。町のひとが若者を頼りにしてくれるし、それにちょっとでも応えたいという気持ちで動いています。

宇賀 取り組みを続けていく上での目標や思いを教えてください。

二神 やっぱり、町民に、特にお年寄りの人たちがっかりされないようにすることですね。昔、誰かに例えで言われたことですが、お年寄りが大きい荷物を持って家までの道を歩いています。その荷物を持ってあげる力や優しさを持っているのは若者、逆に、荷物を持たずに馬鹿にしたりするって力を持っているのも若者で、つまり若者って未知の可能性があって、それをどう使うのが大事なんですね。

でも、手伝ったことでその人がずっと甘えに浸ったりとか、自分で出来ることをしなくなったりとか、そういうことがあるし、逆に黙って持って、「どこ、家。ほら、行くで。」でもなくて、「しんどそうやけど持とうか」っていう声かけで、本当にしんどかったら「あ、かまんかねえ。」って頼ってくれると思うんです。青年団があるうちは、困っている人たちに対して自分たちが出来ることはやったらいいし、でも、まずは声をかけることを大切にしたいです。

私は「若いのにしっかりしちゆうね」って言われるような人たちを手本にして、今の自分があると思っています。実践してみせてくれている人に自分たちも、自分の下の人たちも、どんどんどんどん続いていくことで、梶原町は良い町でいられると思います。

西村 では最後にひとこと、お願いします。

二神 青年団に興味のある若い人はぜひ一緒に梶原町を盛り上げていきましょう。逆に、青年団に何かしてほしいってことがあったら、事務局や私に気軽に声をかけてください。

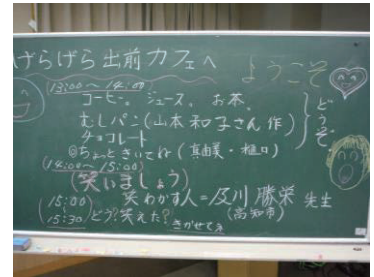
宇賀・西村 ありがとうございます!

次回は 梶原町スポーツ推進委員 西村俊二さん です!お楽しみに!

Covers Story

『げらげら出前カフェ開店！』

- 主催** げらげら家族会
- 対象者** 認知症の方・家族の方・地域の方・その他関係者の方、みんなです。
- ねらい** 今後、認知症の方が増えると言われていています。その病気になっても、地域で安心して暮らせることを願いカフェを開きます。

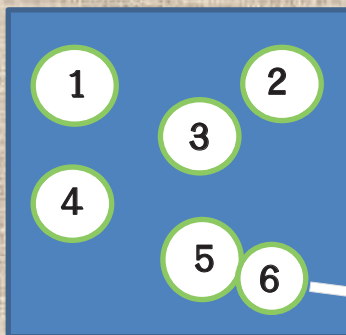


今回東区でカフェ開店しました。おいしいコーヒー・評判の蒸しパン・チョコレート、カフェと言っても選ぶことのできないメニューです。家族会・会員2人が介護をしてきた思いを語りました。高知市の及川勝栄先生によって、げらげらと笑わせて頂きました。笑いは体、特に脳に良いとのことで、起きるとワッハッハッハ。窓を開け、空気を吸ってワッハッハッハ。最初はつくり笑い、その後本笑い。みんなでワッハッハッハと笑いました。

このカフェは県の助成金を受け、準備をしてきました。出前カフェですので、梶原町6区をまわりたいと考えています。(各区長にお願いをしにまわります。)(各区年1回)

げらげら家族会 掛橋培子

** 表紙の写真について **



- ①茶や谷の茶堂葺き直しの様子
- ②老人クラブ女性部けん玉の練習中！
- ③げらげら出前カフェにて、笑いヨガでワッハッハッハ
- ④三嶋神社で前撮りをする土釜さんご夫婦
- ⑤げらげら出前カフェの寸劇で名演技を見せる高橋さん
- ⑥げらげら出前カフェの寸劇で名演技を見せる社協の前田さん

表紙で使う写真を募集しています！

いつも梶原町社協広報誌「ゆすまいる」を見て頂きありがとうございます。「ゆすまいる」では表紙に載せる写真を募集しています。「梶原」「笑顔」をテーマに、笑った人が写った写真、笑いたくなる写真、梶原町の景色、生き物などの写真を提供頂けたらと思います。構わない方は社協までご連絡ください。担当：宇賀・西村・中越(悠)

発行元：社会福祉法人 梶原町社会福祉協議会 住所：高知県高岡郡梶原町川西路 2321-1

発行責任者：樋口 益也 電話：0889-65-1235 ホームページ：<https://www.yusuhara-shakyo.jp/>